Inside the White House – The Kitchen Garden
ホワイトハウスの内側　ー　家庭菜園
8/31/2009 (7 分 44 秒)

00:36
私はいつも菜園に関心が
ありました

00:40
共働き世帯はどこも同じで
私も大変多忙な母親です

00:46
手早く健康的な食事を
作るのはとても困難です

00:53
選挙運動中は特に大変でした
そこで食事を見直しました

00:58
野菜と果物を多く食べ
週に2回は家族そろって

01:05
自宅で食事をとり
外食や加工食品　甘い物を控えました

01:12
小さなことなのに
結果はすぐに出ました

01:17
他の家族がこの小さな変化を
学べるように

01:24
大統領夫人として手助けするのは
よいことだと思いました

01:31
今日は土壌を改良します

01:34
ここの土壌は検査の結果
とてもよい状態でした

01:37-01:42
（テロップ： ホワイトハウス シェフ サム・キャス）

01:38
ですから 少し手を加え

01:42
作物の栽培に適すよう
土壌のバランスを整え

01:48
将来に向けた土台を作ります

02:00
15から20センチの深さまで
土を耕します

02:06
そこに必要な
土壌改良剤をまきます

02:15
硫酸カリウムで土壌を
酸性化します

02:21
不可欠なカルシウムと
窒素はカニ粉で補います

02:28
地元チェサピーク産の
カニ粉を使用します

02:37-02:46
（テロップ： フランクリン・ルーズベルト大統領）

02：36
働かねば収穫なし
戦車なければ勝利なし

02:40
それを心に刻んで
勝利を目指すあなた方は

02:41-02:45
(テロップ：「ビクトリー・ガーデン　1944年」)

02:45-02:51
一人残らず
ビクトリー・ガーデナーです

02:53
最初に菜園を作ったのは
エレノア・ルーズベルトです

02:58
第2次世界大戦中で
とても困難な時代でした

03:03
そのため 当時の菜園は

ベッドぐらいの大きさでした

03:09
菜園の世話をしたのは
職員の娘さんでした

03:13
大規模な収穫ができる菜園は
100年以上の歴史で

03:19
今回が初めてです

03:22
ジェファソン大統領から伝わった
種を　モンティセロの菜園主

03:27
ハッチ氏からもらいました
ジェファソンは

03:32
国民の食生活や作物栽培法を
大きく変えました

03:36
各国に駐在している大使に
お願いして

03:42
世界中から種を集めました

03:45
季節栽培を始めたのも
ジェファソンです

03:49
様々な作物を育てることで
収穫を一年中維持できると

03:51-03:55
（テロップ： モンティセロの菜園）

03:53
今も注目されています

03:59
誰もが菜園作りには
大変乗り気でした

04:05-04:09
（テロップ： バンクロフト小学校の児童たち）

04:05
今日は土壌の準備で
種まきは約2週間後です

04:11
6月の夏休みが始まる頃には

04:13-04:17
（テロップ： 2009年3月20日）

04:15
たくさんの野菜や果物が
できるはずです

04:23
みんなで収穫したら
ホワイトハウスのキッチンに集合です

04:27

菜園を手伝ってくれた
バンクロフトの子供たちは

04:30
本当に素晴らしかった

04:35
サムほら見て　人参よ

04:39
子どもたちから聞いた
菜園の体験談は感動的でした

04:44
ある少女は夕食の果物と
野菜を全部食べるようになり

04:50
お母さんがその違いに気付く程です
少女は人参が好きになり

04:55
人参にも人間のように歴史がある
と言っていました

04:59
子供たちは想像以上の
成長を見せました

05:02
素晴らしいことです

05:04
子供に焦点を合わせたかったのです

05:07

子供は大人より
感化されやすいからです

05:11
事実 娘たちも とまどうことなく
新しい習慣に慣れ

05:17
私が子供たちの行動に
気を配るというより

05:20
むしろ注意される始末です

05:26
もっと家族との食事を
奨励したいと思います

05:32
私の家庭でもそうしています

05:36
大統領でも
家族と食事ができるなら

05:44
もっと多くの家庭で 同じことが
できると伝えたいのです

05:47-05:49（テロップ：3月）
05:50-05:52 （テロップ：4月）
05:53-05:55（テロップ：5月）
05:56-05:58 （テロップ：6月）
05:57-06:02 （テロップ：7月）

06:03

ほら においを嗅いでみて
コショウみたいでしょ

06:11
これまでの収穫量は素晴らしく
95キロになりそうです

06:18
この調子ですから
生育はとても順調です

06:24
最初の夕食会は
20人規模の小さなものでした

06:27
ゲストは経済の専門家たちでした

06:31
サラダの野菜は
すべて菜園育ちでした

06:42
これは今の娘たちに対し
望むことではなく

06:46
大人になった時に
身につけていて欲しい姿勢です

06:52
親から独立した時
何を選んで食べるのか

06:56
炭酸飲料か、水か

どちらを飲むか決める時

07:01
どのような基準で
考えるのか

07:05
娘たち自身が親になった時
彼女たちの子どもにとって

07:11
この習慣が自然な生き方となるよう
導いてやれるか

07:17
この菜園はとても重要です

07:20
なぜなら これを契機に国民の
食べ物に関する考えが

07:26
変わるかも知れないからです

07:30
これが菜園のストーリーです
我ながら大成功だと思います

日本語字幕は参考のための仮訳です
字幕作成： 米国大使館レファレンス資料室